

令和3年度 兵庫県立川西北陵高等学校 学校評価

1 教育目標

己にうち克つ厳しさと、和してとげぬ真の協調とを根源として、豊かな創造性を培い、もって人類・国家・社会に貢献する人間を育成する。

校訓：克己・協調・創造
生活訓：礼を正し、場を清め、時を守る

2 重点目標

校訓・生活訓等、創立時の精神を尊重するとともに、社会の情勢と地域の要望に対応した教育を推進する。

(1) 自立して未来に挑戦する態度の育成
・主体的な進路実現を支援し、自己実現の夢を育むキャリア教育の創造
・グローバルな視野を持って地域社会に貢献する態度の育成
・探究活動や表現活動等、特色ある教育の推進

(2) 「生きる力」を育む教育の推進
・個に応じたきめ細かな学習指導を行い、創造性を引き出し伸ばす教育の充実
・自律の心を育て、心豊かで思いやりのある生徒の育成
・共生の心を育み、安全・安心な学校環境の整備

(3) 子供たちの学びを支える仕組みの確立
・魅力ある学校を創造し、地域に信頼される学校づくりの推進
・「教えるプロ」としての教師集団の確立

3 自己評価

評価項目		主な取組	評価
(1) 自立して未来に挑戦する	ア キャリア力の育成	1 地域と連携した職業人インタビュー (12月実施)	B
		2 キャリアプランを考える進路指導	B
		3 大学・専門学校等の体験講習	B
		4 進路について考える講演会	B
	イ グローバル力の育成	5 地域のコミュニティとの協働学習	B
		6 世界に視野を広げる講演会	C
		7 西条州高校生との相互交流ZOOM ※コロナの影響により実施方法の変更あり	
	ウ 「探究と表現」類型の設置	8 コミュニケーション力を育む体験活動	B
		9 JICAと連携した異文化理解	B
		10 日本の文化等を発信する英語発表	B
		11 地域課題の解決に取り組む体験活動	B
	(2) 「生きる力」を育む教育の推進	ア 確かな学力の育成	12 学びの成果を発信する発表会2/11予定
13 習熟度別少人数授業(数・英)			B
14 SHR(朝礼)での小テスト(国・英)			B
15 週末の家庭学習課題(国・数・英)			B
16 成績不振者への面談・補充			B
17 長期休業中の補習(国・社・数・理・英)			B
(イ) 思考力・判断力・表現力の育成		18 検定試験の受検の推進(国・英)	B
		19 授業内容の精選と発展的内容の取入れ	B
		20 主体的・対話的で深い学び(全教科)	B
		21 言語活動や表現力を重視した総合学習	B
(ウ) 学びに向かう態度・人間性の育成	22 評価規準・シラバスの公表	B	
	23 生徒による家庭学習の記録	C	
	24 生徒による授業評価(全教科)	B	
	25 校訓・生活訓に基づく人間教育	B	
(2) 「生きる力」を育む教育の推進	イ 豊かな心の育成	26 年間指導計画を立てたHR活動	B
		27 生徒が主軸する文化発表会 ※コロナの影響により実施方法の変更あり	B
		28 自主的・自発的な部活動	B
		29 芸術文化に親しむ鑑賞会	A
		30 学校いじめ基本方針の改定・実施	B
	(イ) 社会性の育成	31 情報モラル等、新たな課題に係る講演会 ※コロナの影響により実施方法の変更あり	B
		32 認知症サポーター講習会	A
		33 地域清掃等を行う勤労体験(3月)	
	ウ 健やかな体	34 マニュアルに基づく危機管理	B
		35 防災教育 ※コロナの影響により実施方法の変更あり	C
		36 種目選択別少人数授業	B
		37 生徒が主軸する体育大会等	C
38 スキー実習等を伴う修学旅行			
39 計画的な健康保持・増進		B	
(イ) 健康の増進	40 キャンパス・カウンセラーとの協働	B	
	41 警察と連携した薬物乱用防止、安全指導	C	
	42 WBG Tに基づく熱中症対策	B	
	43 生徒(保健委員会)による啓発活動	B	
	44 国際交流等、学校行事への支援・協力 ※コロナの影響により実施方法の変更あり	C	
(3) 子どもたちの学びを支える	ア P T Aの参画と協働	45 消毒等、教育活動への支援・協力	B
		46 広報誌『北陵』による情報発信	B
		47 学年通信等、P T Aと学校の情報共有	B
		48 生徒が主軸するオープン・ハイスクール	B
	イ 地域への情報発信	49 校内研究授業 ※コロナの影響により実施方法の変更あり	B
		50 学校評議員会の定期開催(7月1月)	B
		51 分かりやすい学校評価の公表(4月)	B
	ウ 学校の組織力・教員の資質能力の向上	52 長期欠席等における学習支援	B
		53 ICT機器の活用研修会実施	B
		54 生徒理解を深める校内研修会	B
		55 人権意識を高める校内研修会	B
		56 生徒指導便り等、HR支援資料の配布	B

4 関係者評価

●今後とも、人間形成を目指した、社会教育も大切であり、地域に関わって、清掃などの環境美化活動や地域の行事を活性化するための地域へ貢献する等の教育にも、今後もしっかりと取り組んでほしい。

●実施できなかった項目があったが、工夫されて取り組んでいる。もっと、その取組をアピールする必要がある。地域にはまだまだ知られていない。

●コロナの影響で多くの地域の行事は中止になった。実施できるようにできれば予定にもあげていただいているように、実施をお願いしたい。

●中学の時から学校行事が中止や延期になることが多かったので、代替行事を工夫して取り組んで欲しい。

●生徒が主体となった北陵の魅力ある素晴らしい取組を、より多くの中学生、保護者、学校関係者に広報することで学校の活性化につなげてほしい。

●地域との結びつきを大事にし、地域とともに生きる学校づくりを進めていって欲しい。

●本校生の提案が、川西市に予算化され実際に形になることが決まった。地域の活性化に高校生の活動が役立った。今後も継続して地域を盛り上げていって欲しい。

●本校生の提案が、川西市に予算化され実際に形になることが決まった。地域の活性化に高校生の活動が役立った。今後も継続して地域を盛り上げていって欲しい。

●日頃の交通安全指導の中で、教員が朝に指導されており、情報提供をいただき地域の安全部会としても協力していきたい。高校生の登校マナーは向上してきているが、学校付近の道路に自転車ゾーンが整備されたこともあり、継続してより良いマナーを目指してほしい。

●高校は地域の人間が入りにくい場所。地域が学校に参入することで、学校も地域も活性化。地域の中学校との各教科、教科を連携した授業研究会の開催等、さらなる授業改善を進めてほしい。

●オープン・ハイスクールを生徒の明るい様子を含め、生徒主体で行っていることが素晴らしい。学校の魅力が上手に伝わっている。せいとがはせつめいするのが重要である。学校の楽しい雰囲気や、中学生に入学して欲しいという気持ちが伝わる。

●特色類型活動発表会をオンラインで参観したが、英語の発表や落語もあり、完成度の高いプレゼンテーションを見ることができた。中学生や保護者もぜひとも入学したいとの希望を持つと思う。

●学校評価をする中で、高等学校もきめ細かな生徒への対応を大切にされていることを感じた。

●学習環境整備を関係職員に一層お願いしたい。